平安松寿堂

日本の伝統工芸品

京都の鉄瓶

京

～暮らしに生きる用の美～

写真の鉄瓶は雲色堂鉄瓶、風炉は平安松寿堂の作品になります

伝統を継ぐ

京鉄瓶

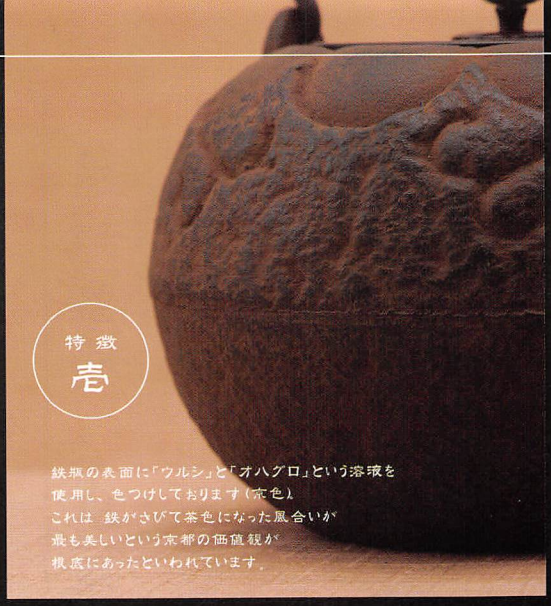
製品証明書貼付

日本茶道の発祥の地・京都において鉄瓶は、茶道の釜の影響を強く受けています。京都では鉄瓶を作る人を釜師と呼び

つくられた鉄瓶は日本茶道の侘び寂びの美意識を表現した深く味わいのあるデザインになっています。

京都の鉄瓶を知る

京都の鉄瓶は主に風炉と呼ばれる
火鉢にのせ、店先などでお客様をもてなし
お茶を楽しむ、見せる鉄瓶として発達しました。
特に江戸時代、龍文堂の鉄瓶は大流行し
明治期には金銀の象嵌 ※ 細工をした
高級品鉄瓶も作られ、ヨーロッパにも
輸出されていました。
弊社のある富小路あたりは、明治期には多くの
鉄瓶職人がおり数々の意匠を凝らした鉄瓶が
製作されました。しかし近代化とともに
職人は減り、関西において鉄瓶製造者は
弊社を含めて数件を残すのみとなっております



特徴 壱

鉄瓶の表面に「ウルシ」と「オハグロ」という溶液を
使用し、色つけしております(京色)
これは 鉄がさびて茶色になった風合いが
最も美しいという京都の価値観が
根底にあったといわれています。

特徴 弐

京鉄瓶の蓋は唐銅(青銅)で作られているということです。
日本茶道では中国の唐の時代より伝来した銅合金を
唐銅とよび 古来より貴重なものとして
鉄瓶の蓋にも使われております京都の価値観が
根底にあったといわれています。

鉄瓶の内側底に板状の突起が数枚ついています
あげこれは鉄瓶のなかのお湯が対流しやすいように
工夫されたもので 日本茶道の茶人はこれを
「鳴金(なりがね)」と呼びます。
京鉄瓶の多くにこの鳴金がついています。

特徴 参

※ 象嵌とは。

象嵌とは鉄瓶の表面をタガネで彫り
金線・銀線を入れたり、銀板を入れたりする技法。
平象嵌・線象嵌・布目象嵌などがある

平象嵌

器物表面と象嵌部分を同一平面にして模様を表現。

線象嵌

線だけで表現

布目象嵌

線を集合させ面の模様を表現

姥口墨座

鉄瓶

KT001

奥行: 17　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1,300　cc

桜川

鉄瓶

KT002

奥行: 17　総幅: 18　高さ: 21

容量: 1,500　cc

あられ

鉄瓶

KT003

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1.400　cc

肩衝霰

鉄瓶

KT004

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1.300　cc

木瓜山水

鉄瓶

KT007

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1.300　cc

雨龍

鉄瓶

KT005

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 21

容量: 1.300　cc

長閑蘭地紋鉄瓶

KT008

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1,300　cc

芋筋

鉄瓶

KT025

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1,300　cc

姥口笹

鉄瓶

KT010

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1,000　cc

寄柴

鉄瓶

KT009

奥行: 15　総幅: 18　高さ: 22

容量: 1,450　cc

尾垂肩衝

鉄瓶

KT012

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1,350　cc

達磨松竹

鉄瓶

KT014

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1,400　cc

四方桐尾垂鉄瓶

KT011

奥行: 14　総幅: 17　高さ: 21

容量: 1.200　cc

唐草

鉄瓶

KT015

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1,300　cc

鳳凰霰地紋鉄瓶

KT016

奥行: 17　総幅: 18　高さ: 21

容量: 1,450　cc

羽付真成

鉄瓶

KT017

奥行: 15　総幅: 16　高さ: 19

容量: 900　cc

七賢人

鉄瓶

KT018

奥行: 17　総幅: 18　高さ: 21

容量: 1,400　cc

菊形

鉄瓶

KT019

奥行: 15　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1,300　cc

六角四君子鉄瓶

KT020

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 21

容量: 1.300　cc

平丸松竹梅鉄瓶

KT026

奥行:16　総幅:18　高さ:19.

容量:1.250　cc

糸目千筋　鉄瓶

KT027

奥行:16　総幅:17　高さ:20

容量:1.300　cc

鹿紅葉

鉄瓶

KT030

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 19

容量: 1,300　cc

平福寿

鉄瓶

KT033

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1,350　cc

雲龍

鉄瓶

KT021

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1.400　cc

芦雁

鉄瓶

KT037

奥行: 17　総幅: 18　高さ: 19

容量: 1.300　cc

菊割尾垂

鉄瓶

KT022

奥行: 14　総幅: 17　高さ: 21

容量: 1.200　cc

荒肌

鉄瓶

KT023

奥行: 15　総幅: 16　高さ: 20

容量: 1.300　cc

梅散

鉄瓶

KT041

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1,300　cc

六寸水鳥

鉄瓶

KT032

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 19.5

容量: 1,800　cc

尾花文字入鉄瓶

KT038

奥行:16　総幅:18　高さ:21

容量:1.450　cc

福寿

鉄瓶

KT036

奥行:16　総幅:18　高さ:21

容量:1.500　cc

秋草

鉄瓶

KT028

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 21

容量: 1,500 cc

糸目墨座

鉄瓶

KT044

奥行: 15　総幅: 16　高さ: 20

容量: 1.300 cc

八角鶴

鉄瓶

KT042

奥行: 15.　総幅: 17　高さ: 21

容量: 1.500 cc

八景

鉄瓶

KT045

奥行: 15　総幅: 16　高さ: 19

容量: 1,200　cc

雪月花

鉄瓶

KT047

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1,300　cc

平雨龍

鉄瓶

KT046

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 18

容量: 1,200　cc

平文字入

鉄瓶

KT048

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 17

容量: 900　cc

古銭

鉄瓶

KT053

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 19

容量: 1.300　cc

帯霰

鉄瓶

KT055

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1,350　cc

宝尽くし

鉄瓶

KT057

奥行: 15　総幅: 16　高さ: 20

容量: 1,350　cc

道安

鉄瓶

KT058

奥行: 17　総幅: 19　高さ: 22

容量: 1,800　cc

墨座肩衝

鉄瓶

KT056

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1,300　cc

四方茶道具鉄瓶

KT060

奥行: 13　総幅: 16　高さ: 19

容量: 900　cc

四方

地紋鉄瓶

KT061

奥行: 13　総幅: 16　高さ: 20

容量: 1,000　cc

住吉

鉄瓶

KT062

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1,250　cc

柏葉

鉄瓶

KT063

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1,300　cc

傘型霰

鉄瓶

KT066

奥行: 17　総幅: 17　高さ: 19

容量: 1,200　cc

六寸扇面山水鉄瓶

KT064

奥行: 17　総幅: 19　高さ: 22

容量: 1.800　cc

肩衝秋草

鉄瓶

KT065

奥行: 16　総幅: 19　高さ: 21

容量: 1.800　cc

色紙

鉄瓶

KT070

奥行: 15　総幅: 18　高さ: 22

容量: 1,800　cc

鈴型

鉄瓶

KT081

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 22

容量: 1,600　cc

大講堂

鉄瓶

KT067

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 19

容量: 1,250　cc

菊花文字入鉄瓶

KT069

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 20

容量: 1,400　cc

肩衝鳳凰唐草鉄瓶

KT072

奥行:16　総幅:18　高さ:20

容量:1.300　cc

肩衝渦紋

鉄瓶

KT073

奥行:15　総幅:17　高さ:19

容量:1.250　cc

肩衝干支

鉄瓶

KT076

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 19

容量: 1.250　cc

瓢形

鉄瓶

KT075

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 21

容量: 1.300　cc

尻張荒肌

鉄瓶

KT077

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 18

容量: 1,200　cc

尻張花籠

鉄瓶

KT078

奥行: 15　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1,350　cc

平丸荒肌

鉄瓶

KT079

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 19.

容量: 1.200　cc

平丸

鉄瓶

KT084

奥行: 15　総幅: 17　高さ: 18

容量: 1.000　cc

平丸唐草

鉄瓶

KTN309

奥行:16　総幅:17　高さ:20

容量:1,400　cc

八角肩衝

鉄瓶

KTN310

奥行:14　総幅:16　高さ:21

容量:1,450　cc

平丸文字入(小)鉄瓶

KT406

奥行:13　総幅:15　高さ:17

容量:700　cc

尻張刷毛目(小)鉄瓶

KT407

奥行:13　総幅:15　高さ:18

容量:700　cc

雲龍蓋雲象嵌鉄瓶

KTZ116

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1.400　cc

唐草吹き寄せ象嵌鉄瓶

KTZ157

奥行: 16　総幅: 18　高さ: 20

容量: 1.300　cc

撫肩高彫象嵌短冊鉄瓶

KTZ130

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 21

容量: 1.400　cc

撫肩高彫象嵌白菊鉄瓶

KTZ133

奥行: 16　総幅: 17　高さ: 21

容量: 1.400　cc

鉄瓶の使い方

◎ 新品の鉄瓶は最初の御使用の際、金気を取る為に水を入替えながら沸かして下さい。

◎ このように数回沸かしていきますとだんだん内部がきれいになって水も澄んで漆の匂いも抜け気持良くお湯を使って戴けます。

◎ 内部に自然に付く「湯垢」は鉄器独特の甘さを増してお茶味しくお茶を頂けるもとでございますのでお取り除きにならないでドさい。

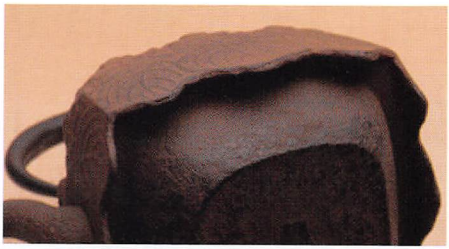
◎ 内部の黒い部分は漆です。擦り取らないでください

◎ ご使用後必ずお湯を空け蓋を取って余熱で内部をよくかわかしてください。ヘアードライヤーなどを使って乾かすと便利です。

◎ 空焚きはしないでください。空焚きしすぎると内部の漆がとれて錆びやすくなります

◎ タワシやミガキ粉で磨いたり油などは塗らない様お願い致します。

◎ 象嵌作品につきましては金箔部分はこすったりしないでください。はがれの原因になります

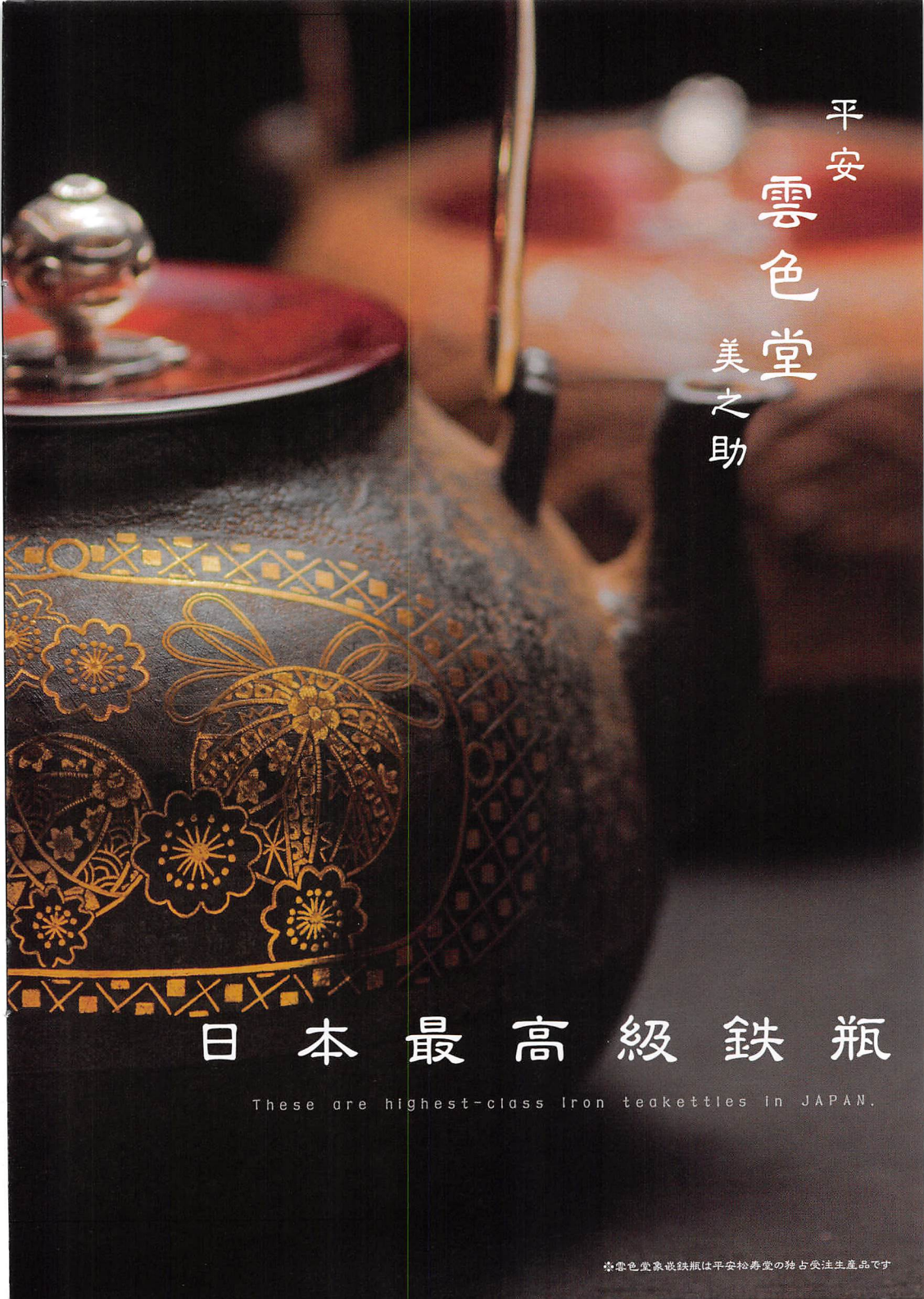


【尾垂型】 鉄瓶下部を垂れさがった形に仕上げたもの。朽ち果てて表面が垂れさがった様子をあらわす。

【姥口型】 口の内側が丸みをもって落ち込んだ形

【羽付型】 鉄瓶下部に羽が衝いた形。羽をたたき割り外したものを羽落という。

【荒肌型】 表面をわざと凸凹したきめの荒い肌に仕上げたもの。


平安
雲色堂
美之助
日本最高級鉄瓶
These are highest-class Iron teakettles in JAPAN.
✤雲色堂象嵌鉄瓶は平安松寿堂の独占受注生産品です

平安松寿堂

畠　春斎

畠春斎の名で茶の湯釜を作って3代鉄瓶鍋を作って
17代目の名家。
双型鋳造法により鉄瓶を製作するため、1ヶ月に数個しか
仕上がらない貴重な鉄瓶。

【略歴】

❖二代　畠　春斎

昭和46年	日本伝統工芸展　入選(以後連続入選)
昭和48年	日本伝統工芸展　奨励賞
	日本工芸会正会員になる
昭和49年	日本金工展　日本工芸会賞
昭和53年	日本伝統工芸展　日本工芸会会長賞
平成　4年	日本工芸会理事に就任
	日本伝統工芸展　鑑査委員
	重要無形文化財保持者選賞

❖三代　畠　春斎

平成18年	市展　奨励賞、県展　新人賞
平成19年	日本伝統工芸富山展　奨励賞
	日本伝統工芸展　朝日新聞社賞
平成20年	財団法人宗桂会　努力賞
平成21年	日本伝統工芸富山展　県教育委員会賞
	日本工芸会正会員になる
平成22年	日本伝統工芸富山展　奨励賞

平安雲色堂

美之助

江戸期釜座の座衆取締として活躍し、天下一釜師の
称号を得た初代以来、代を重ねて十三代。
歴代の偉業を受け継ぎ、京釜の伝統や特徴などを
守りつつ、茶の心を大切にしながら用の美を目指した
作品つくりに取組んでおります。

❖初代　和田信濃大掾藤原国次

京都三条釜座に住し江戸期釜座の座衆取締等、頭として
活躍し、天下一釜師の称号を有し、釜　釣鐘　等鋳造す。

❖二代　和田信濃大掾藤原国次

寛永十三年初代の協力の許に知恩院大釣鐘を鋳造、以来
寛永代より専ら釣鐘等大物師として傑作を遺り　後年入道
元禄二年従五位を賜わる。

❖十代　和田美之助

京下京高辻に住し、雨宮金寿堂に学び雲色堂の名で
鉄瓶を鋳造す。大正二年没。

❖十二代　和田美之助

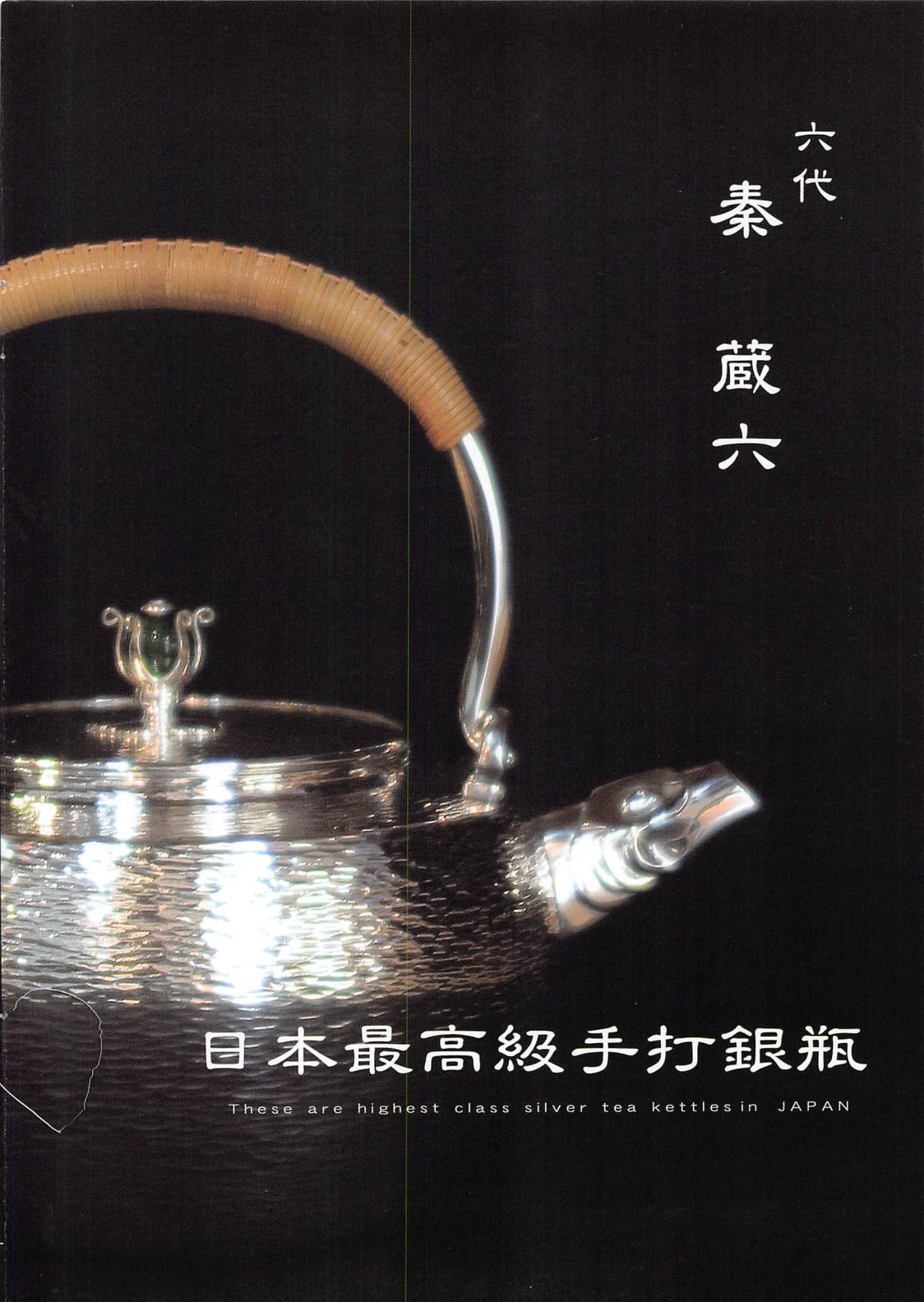
歴代の偉業を受け継ぎこの道一筋に専念、秘法を守りさらに
研究改良を重ね製作に精進す。

❖十三代　和田美之助

京釜のみならず平安　雲色堂　美之助の名で京鉄瓶の復興に
取組み明治期につくられた最高級品である総象嵌鉄瓶を
完成させる　。

六代

秦 蔵六



日本最高級手打銀瓶

These are highest class silver tea kettles in JAPAN

六代 秦 蔵六

【略歴】

❖ 初代 秦 蔵六

初代蔵六は京都山城雲ヶ畑より出て鋳金の技を研究し、当時の蝋型鋳造は妙技と推奨される。
孝明天皇の御印を奉鋳し、徳川慶喜公の黄金印を鋳造。
明治六年に宮内省の命を受け、大日本国璽の黄金印を謹作。
龍文堂門下で鋳金を学ぶ。

❖ 二代 秦 蔵六

父に就き鋳造の技を磨き。父と共に国璽の謹造に奉仕し広隆寺銅鼎製作

❖ 三代 秦 蔵六

独自の技法を発揮し皇太后陛下献上の銀製大花瓶等の力作あり。

❖ 四代 秦 蔵六

技術保存の資格を有し家伝の秘技をさらに新鮮なる相違を加え
大いに切磋琢磨する。

❖ 五代 秦 蔵六

伝統の蝋型鋳造法を継承。琢磨するとともに考古学研究により。
古代中国特に殷。周の銅器の再現に努む。

❖ 六代 秦 蔵六

当代。

七代 高木 治良兵衛

京都の町のほぼ中央に位置する「釜座（かまんざ）」に
現在までに残る1855年創業の釜師。

【略歴】

❖ 初代 高木治良経兵衛

釜師・大西家十世浄雪に兄弟で師事し兄は大西家十二世を継ぎ
弟は大西家より独立し高木治良兵衛を名乗る。

❖ 二代 高木治良経兵衛

雷岡鉄斎と親交が深く、鉄斎翁・鼎月尼画賛入の釜を多数制作。

❖ 三代 高木治良経兵衛

引き続き鉄斎好みの釜を制作、茶道各流好みの風炉釜なども手がける。

❖ 四代 高木治良経兵衛

それまで主流であった打肌に挽肌の技術を取り入れ、水墨画タッチで
地紋を表現する新しい京釜の制作を始めました。

❖ 六代 高木治良経兵衛

釜師として鋳物作品の製作のみならず槌起の技法で銀瓶など製作。

❖ 七代 高木治良経兵衛

平成二六年に襲名、五世に師事し釜および銀瓶などの製作とともに
伝統の技術を守り伝える。

明治十八年(西暦一八八五年)京都 寺町にて
初代 西村 勝が創業鉄瓶火鉢釣鐘など
鉄器銅器など中心に製造販売してました。

明治時代から大正時代にかけて
富小路通り界隈にあった龍文堂 雨宮金寿堂とともに
金属工芸を製作し、日本国内のみならず
海外ヨーロッパなどに出荷していました。

現在、平安松寿堂では四代目 島 明彦の製作指揮の下
銅製の和風照明のデザインを手がけるとともに
平安松寿堂 雲色堂の製作を指揮し京都の伝統を守りつつ
明治時代につくられた銀や金の象嵌をあしらった
鉄瓶の復活に力をいれ京鉄瓶の普及に努めております。

平成21年、22 27年 京都デザイン賞入賞
2011年世界最高級の象嵌鉄瓶の製作指揮
(雲色堂 龍象嵌鉄瓶)
創業100年 京都府より京の老舗認定

西村松寿堂

創業明治十八年

有限会社 西村松寿堂

〒600-8063
京都市下京区松原中之町484-2
TEL 075-351-0424
FAX 075-351-0424
営業時間 10:00 -18:00
定休日 日曜祝日
MAIL : order@web-douguya.com